府中市自然環境調査　野鳥　　2020年度6月　　観察場所：武蔵台公園　　観察時間：9時30分～11時00分　　観察担当者　　橋本，多田，宮島

			20年度観察数													
	観察月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	観察月数	観察数合計
	観察日		15	13	10											
番号	科	名称 ＼ 天気	晴	晴	晴											
1	ｶﾓ	ｶﾙｶﾞﾓ													0	0
2	ﾊﾄ	ｷｼﾞﾊﾞﾄ	1	1	1										3	3
3	ｶｯｺｳ	ﾂﾂﾄﾞﾘ													0	0
4	ﾄﾋﾞ	ﾄﾋﾞ VU													0	0
5	ﾀｶ	ﾂﾐ CR													0	0
6	ﾀｶ	ﾊｲﾀｶ		1											1	1
7	ｷﾂﾂｷ	ｺｹﾞﾗ	2		4										2	6
8	ｷﾂﾂｷ	ｱｶｹﾞﾗ NT													0	0
9	ｷﾂﾂｷ	ｱｵｹﾞﾗ NT	1	1											2	2
10	ﾊﾔﾌﾞｻ	ﾊﾔﾌﾞｻ VU													0	0
11	ﾓｽﾞ	ﾓｽﾞ VU	1												1	1
12	ｶﾗｽ	ｶｹｽ													0	0
13	ｶﾗｽ	ｵﾅｶﾞ	8	2											2	10
14	ｶﾗｽ	ﾊｼﾎﾞｿｶﾞﾗｽ	3	3	2										3	8
15	ｶﾗｽ	ﾊｼﾌﾞﾄｶﾞﾗｽ	4	7	6										3	17
16	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	ﾔﾏｶﾞﾗ													0	0
17	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	10	11	15										3	36
18	ﾂﾊﾞﾒ	ﾂﾊﾞﾒ	1		3										2	4
19	ﾂﾊﾞﾒ	ｲﾜﾂﾊﾞﾒ													0	0
20	ﾋﾖﾄﾞﾘ	ﾋﾖﾄﾞﾘ	34	9	11										3	54
21	ｳｸﾞｲｽ	ｳｸﾞｲｽ NT													0	0
22	ｴﾅｶﾞ	ｴﾅｶﾞ NT	1	3											2	4
23	ﾒｼﾞﾛ	ﾒｼﾞﾛ	2	2	1										3	5
24	ﾑｸﾄﾞﾘ	ﾑｸﾄﾞﾘ	4		1										2	5
25	ﾋﾞﾀｷ	ｼﾛﾊﾗ													0	0
26	ﾋﾞﾀｷ	ﾂｸﾞﾐ													0	0
27	ﾋﾀｷ	ﾙﾘﾋﾞﾀｷ													0	0
28	ﾋﾞﾀｷ	ｼﾞｮｳﾋﾞﾀｷ													0	0
29	ｽｽﾞﾒ	ｽｽﾞﾒ		2											1	2
30	ｾｷﾚｲ	ﾊｸｾｷﾚｲ													0	0
31	ｱﾄﾘ	ｱﾄﾘ													0	0
32	ｱﾄﾘ	ｶﾜﾗﾋﾜ													0	0
33	ｱﾄﾘ	ｼﾒ	3												1	3
34	ｱﾄﾘ	ｲｶﾙ NT													0	0
35	ﾎｵｼﾞﾛ	ｱｵｼﾞ	3												1	3
観察種数	月 ／ 年		15	11	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	

アオジ

オナガ

コゲラ

月	20年度　コメント
4	新緑の中、あちこちでシジュウカラが囀っていた。冬鳥のシメや、アオジがまだ居残っていた。渡り途中なのかヒヨドリが多く見られた。
5	シジュウカラが囀り、ヒヨドリが追いかけあう姿が見られた。スズメがイヌザクラに来ていた。ガビチョウが小学校裏の里山スペースで餌取をしていた。
6	木の葉が茂り、鳥の姿が見えにくくなっている中、シジュウカラ、ヒヨドリの声が盛んに聞こえた。シジュウカラは幼鳥の声も目立った。
7	
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

注1：表の最下段は月ごとの観察種数と年間の観察種数。
注2：名称欄記号は、2010年度東京都レッドデータ、北多摩のカテゴリー表示。

その他

観察月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ｶﾜﾗﾊﾞﾄ													
ｶﾞﾋﾞﾁｮｳ		1	3	2									
ｿｳｼﾁｮｳ													
ﾎﾝｾｲｲﾝｺ													

レッドリスト表示について

名称欄に東京都レッドリストのカテゴリー表示を行った。カテゴリー表示の条件を以下に示す。

2010年版　東京都レッドリスト
対象地域　北多摩の評価による

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生で絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、ごく近い将来における野生で絶滅の危険性の高いもの
絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状況をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、使い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」としての上位ランクに移行する要素を有するもの